



小城市

ため池ハザードマップ

七ツ江、川越城、深佐古
源五郎、新堤、上の堤ため池

【保存版】



七ツ江ため池全景



川越城ため池全景



深佐古ため池全景



源五郎ため池全景



新堤ため池全景



上の堤ため池全景

令和5年3月作成



ため池ハザードマップに関するお問い合わせは

小城市役所 農村整備課 TEL: 0952-37-6127

ため池
決壊想定
イメージ

1 大規模地震により堤防が破損、大雨で増水
・・・亀裂や堤防前面の滑落など

2 大雨等でため池の水位低下が困難
・・・亀裂や堤防前面の滑落箇所からの漏水など

決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。

※今回のため池ハザードマップ作成については、今後発生が予想される大規模地震などにより、ため池が決壊した場合を想定しています。

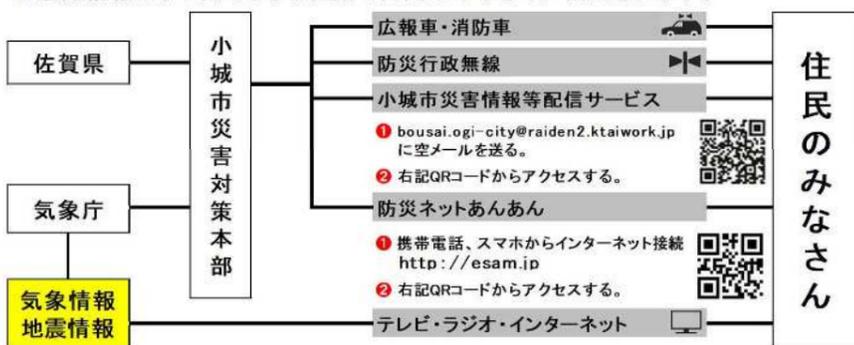
高台に避難してください！

市からの避難情報に注意しよう！

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示(注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない  
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである  
(注) 避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

●避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



## 避難指示等がだされたら速やかに避難しよう



### ～早期避難のススメ～

避難は、可能な限り浸水被害が発生する前に行ってください。ため池の決壊後の避難は危険ですので、注意してください。

- 動きやすい服装で。
- 荷物は最小限。
- 足元に注意。

- 原則として避難は徒歩で。
- 指示に従いましょう。

### 地震のあと

被災状況(防災無線の故障、広報車の通行不可、停電等)により、通常的手段を通じた情報の入手が困難になります。そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に事態に対応しましょう。

災害発生時の避難情報 入手における注意点

### 大雨のとき

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災無線・広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。テレビやラジオ、インターネットなどから、自主的な情報収集を心がけましょう。

## 地域防災力の向上に向けて

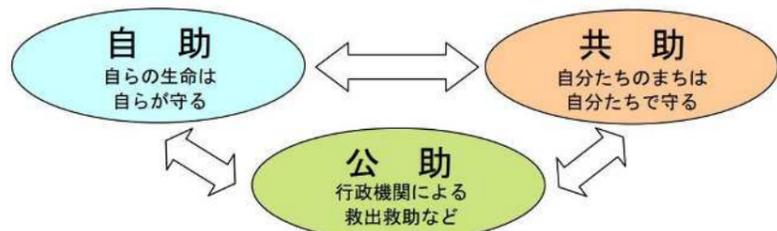
災害(大雨、洪水、地震)は必ず発生します。もしかすると、明日発生するかもしれません。将来予想される大規模な災害に対応するためには、自助・共助・公助の取り組みとともに、地域の防災力を向上させていくことが重要です。

### 「災害を知る」「まちを知る」「人を知る」

- 災害を知る**  
「どれくらいの規模で、どのような災害の発生が予想されるか」
- まちを知る**  
「災害時に安全な場所、危険な場所はどこにあるのか」  
「何かあった場合にお世話になる場所や施設はどこにあるのか」
- 人を知る**  
「いざという時に頼りになる人はどこにいるのか」  
「近所に手助けが必要な人はいないか」

### 「自助」「共助」「公助」

- 自助**  
「自らの安全は、自らが守る」これが、防災の基本です。
- 共助**  
近所の人たちと協力して、お互いに助け合うこと。
- 公助**  
市役所・警察・消防といった行政機関が取り組むこと。

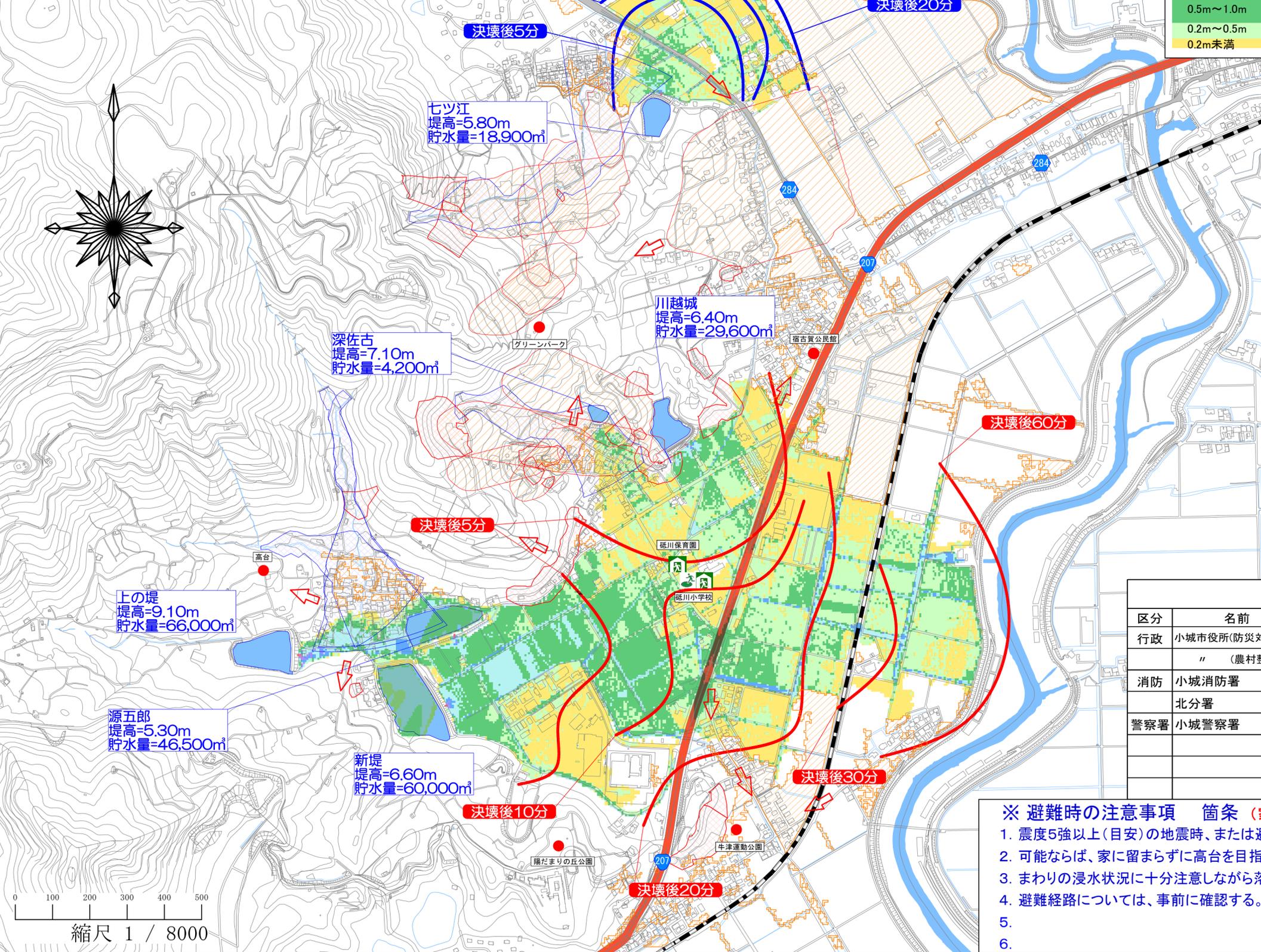


それぞれが、災害対応力を高め、連携することが重要

地域防災力を高めることが、災害に強い地域を作る事に  
つながり、一人でも多くの命を救うことにつながります。

【保存版】  
**小城市ため池ハザードマップ**  
 ななつえ かわけえじょう ふかさこ  
**七ツ江、川越城、深佐古**  
 うえのつづみ しんつづみ げんごろう  
**上の堤、新堤、源五郎**

このマップは、6箇所のため池が同時に決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池すべての貯水量が流出する状況を想定しています。このマップは、浸水の深さを色で表しています。表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



### 浸水深の目安

5.0m以上	屋根まで浸水
3.0m～5.0m	2階以上が浸水
2.0m～3.0m	1階以上が浸水
1.0m～2.0m	大人の頭まで
0.5m～1.0m	大人の腰まで
0.2m～0.5m	床下浸水
0.2m未満	

### 凡例

- 指定避難所(市指定)
- 指定緊急避難所(市指定)
- 避難場所(地元選定)
- 避難方向(※4参照)
- 大雨時浸水想定区域
- 土石流警戒区域
- 急傾斜警戒区域
- 地すべり警戒区域

<span style="color: red;">—</span>	川越城、上の堤、深佐古 新堤、源五郎	決壊後到達予想時間
<span style="color: blue;">—</span>	七ツ江	決壊後到達予想時間

**わが家の防災メモ (各家庭で記入してください。)**

わが家の避難所: _____

家族の集合場所: _____

緊急時の連絡先: _____

家族の名前	生年月日	血液型	電話番号	会社・学校の電話番号

**緊急連絡先など (各自で記入してください)**

区分	名前	電話番号	区分	名前	電話番号
行政	小城市役所(防災対策課)	(0952)-37-6119			
	" (農村整備課)	(0952)-37-6127			
消防	小城消防署	(0952)-66-1541			
	北分署	(0952)-73-9919			
警察署	小城警察署	(0952)-73-2281			

- ※ 避難時の注意事項 箇条 (家族で避難時についての決め事などを事前に話しておきましょう。)**
1. 震度5強以上(目安)の地震時、または避難勧告等が出されたら速やかに避難する。
  2. 可能ならば、家に留まらずに高台を目指して避難する。
  3. まわりの浸水状況に十分注意しながら落ち着いて避難する。
  4. 避難経路については、事前に確認する。
  5. _____
  6. _____
- 注: 5. 及び6. については、各家庭で記入してください。